

ひょうご・データ活用プラン(仮称) 主な取組(案)

基本方針Ⅰ 未来を創る ~イノベーションの創出~

基本方針Ⅱ 活力を高める ~パフォーマンスの向上~

(1) 新事業・新サービスの創出

(2) サービス利用者のユーティリティ向上

① データ集積と多面的活用による価値創造

① データ活用によるサービスレベル向上

データを集積し、複合的に活用できる環境を構築、新事業・新サービスの創出等、イノベーションの創出に寄与

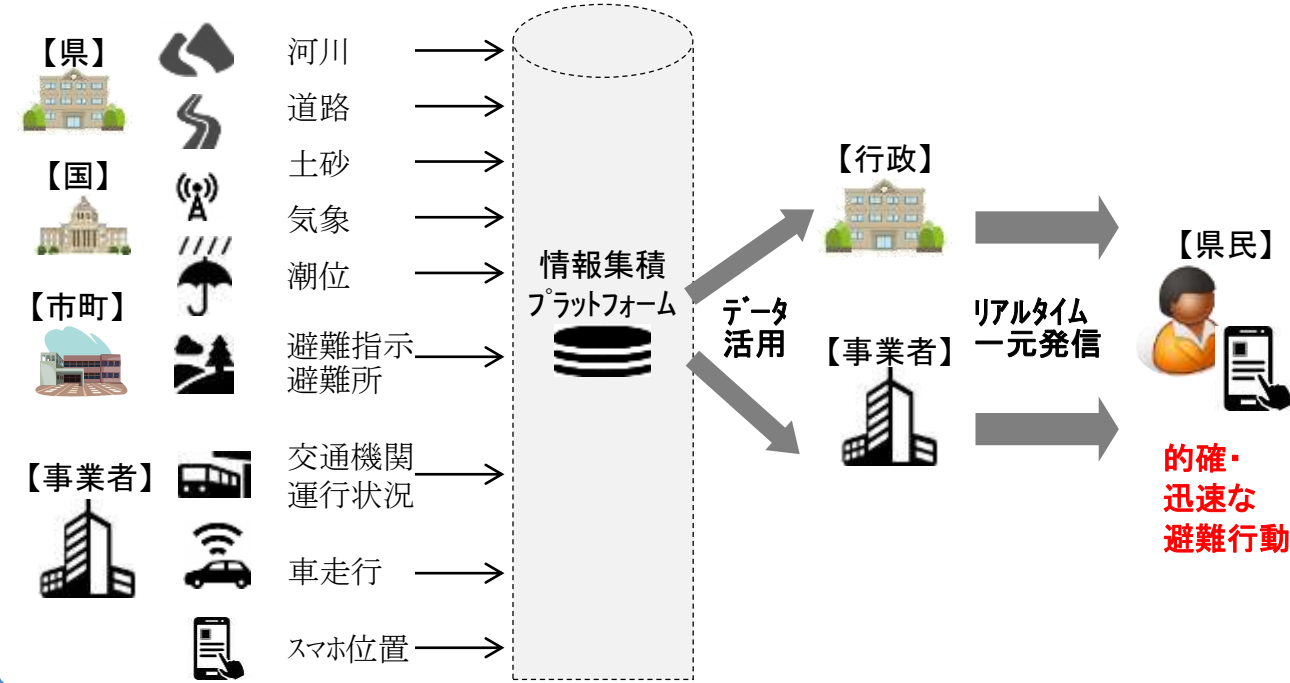
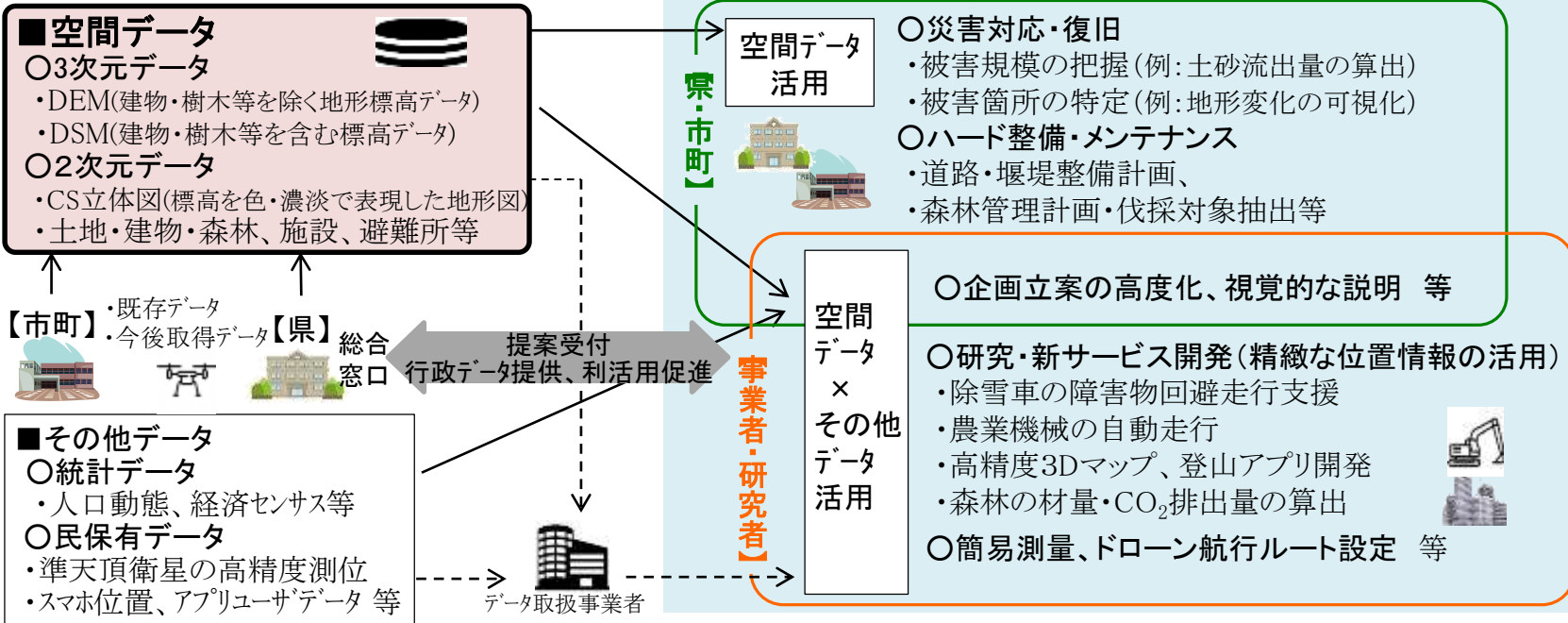
リアルタイムデータを集積し、一元的に提供することにより、利便性の高いサービス提供を促進

◆高精度な3次元空間データ等の集積による多面的活用

◆リアルタイムデータの一元的提供による避難行動促進

- 高精度な3次元データ(全県土分の公開は全国初)・2次元データや、高性能ドローン等による今後取得データをクラウド上に集積・公開
- 県・市町が、これらのデータを災害対応・復旧やハード整備・メンテナンスに活用
- 空間データと他データ(統計情報等)を組み合わせ、官・民において企画立案や説明の高度化に活用
- ①県に総合窓口を設置して事業者からの提案受付や行政データ提供・利活用を推進するとともに、②各種データを集積して企業等に提供するデータ取扱事業者とも連携し、民における新事業創出や生産性向上を促進

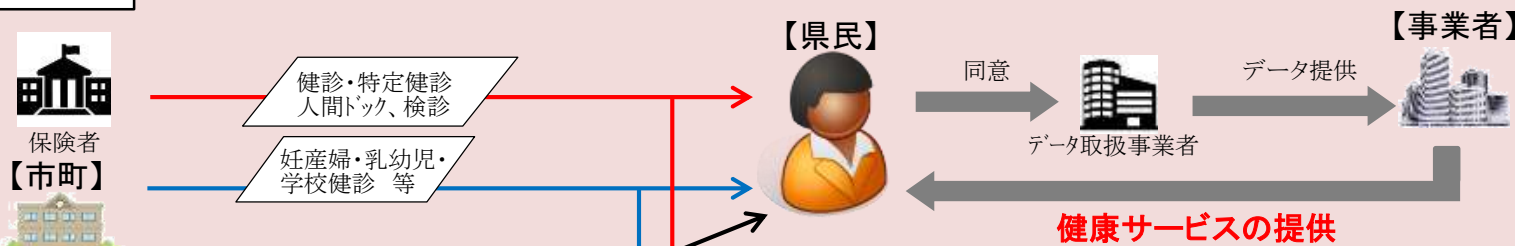
- 河川の水位情報、土砂災害危険度情報等、個別に公開されている行政のリアルタイムな災害関連情報をプラットフォームに集積
- 民のデータもあわせて、一元的に災害情報を発信するICTツールを開発・提供



◆パーソナル・ヘルス・データ等の集積による健康寿命延伸

- 個人の健康・医療データを本人同意のもとデータ取扱事業者を集積する仕組みを構築し、本人の閲覧や、事業者による最適な健康サービスの提供を促進(下図①)
- 電子カルテ、診療・ケア情報を連携させ、より質の高い医療の提供を促進(下図②)
- 健康データ・医療データを匿名加工して事業者が利活用できる仕組みを構築することで、新事業の創出を促進(下図③)

① 健康データ



② 医療データ

